

# 緑のまきば

2012年 No.45

小金井緑町教会

小金井市緑町四一六一三三

☎042-381-7961

牧師 山畑 謙

説教

## 鷲のように翼を張って

山畑 謙

2012年度  
の聖句

「主に望みをおく人は新たな力を得  
鷲のように翼を張って上る。  
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。」  
(イザヤ書40・31)

二〇一二年度の聖句は、鷲が大きく翼を張って、大空に上っていく力強いイメージと共に、大きな慰めと勇気を与えてくれます。しかし、実はこの御言葉の少し前のところに、自分もはや神に見捨てられたと絶望的な思いになってしまっている人の言葉が出てきます。「私の道は主に隠されている、わたしの裁きは神に忘れられた」(27節)と。この言葉は深刻です。神様を知っており、信仰をもつて生きてきた人が、神様に対して不信を抱き、信仰的な迷子になったよ

うなものです。「私の道は主に隠されている」とは、もう私のことなど、神様の眼中にない(アウト・オブ・ガンチャーとも言います)のだと思ってしまうこと。「わたしの裁きは神に忘れられた」というのも、わたしがひどい目に、不条理な目にあつて、必死になつて神様に訴えても、神様は見向きもしてくださらないと言っているようなものです。この人はどんな辛い目にあつていたのでしょう。なぜ自分がこんな目

にあわなければならぬのか、どうして自分がこんな苦しみを受けなければならぬのか、一生懸命神様に尋ねています。しかし、何の答えもいだけなかつたようです。神様は沈黙されている。答えてくださらない。そこから、本当に自分もはや神様の眼中になどなく、見向きもされないうものとなつてしまつたとしか思えない、という悲痛な叫びをあげているのです。

これに対して、預言者イザヤは言います。なぜそんなことを言うのだ、と。あなたは知らないのか、いや知っているはずではないのか、いや聞いてきたことはないのか。神様がこの世界を造られたけれども、途中で身勝手に「飽きたから、もういい」と言つて造つたこの世界や人間(私たち)のことを、無責任に放り出すような方ではない、と。疲れたからと言つて、あなたのことを忘れたりするような方ではないのだ、と。断じて、神様は気まぐれでも意地悪でもなく、こちらが呼んでも答えてくれない神でもない、と。

では、どのように私たちの呼ぶ声、叫びに神は応えてくださるのでしよう。その答えが、主イエス・キリスト

がまことの人として生まれ、十字架に苦しんで死なれ、三日目によみがえられたことにあります。

苦しみのただ中にある人は、この答えに、空しいズレを感じるかもしれません。今の苦しい状況を少しでもましにしてほしいのに、その答えが今の苦しみと何の関わりがあるのだ、と。しかし、もしかしたら、それがつながらないのは「わたしの道・わたしの裁き」といつも自分を中心にした解決や解答を求めているからではないでしょうか。そうではなく、「主に望みをおく」、すなわち神様を自分の人生、自分が生きるこの世界の中心にお迎えする時に、その究めがたい英知(全能の力・愛)が、私たちを包み、赦し、生かし、どんな地上の苦しみにもへこたれずに、鷲のように翼を張って上る者とされると告げられています。神様は、主イエスの十字架と復活の事実をもって、それを告げる御言葉と御霊とをもって、確かに答えてくださいます。「主に望みをおく」ことができるよう、助けを祈り求めようではありませんか。そして走っても弱ることなく、歩いても疲れないという、不思議な恵みを、私たちが味わい知る者とならせてくださいと共に祈りましょう。